

# 開一小だより

第372号

平成29年10月31日発行

練馬区立開進第一小学校

校長 石神 徹

## 家庭を楽器に例えると

校長 石神 徹

“土台がしっかりし深みが増す”、“もともと軽快な音楽だったのをより引き立てている”、“演奏に力強さが増す”、“主旋律を演奏している人も吹きやすい”

ジャズのスタンダード・ナンバーに♪茶色の小瓶があります。発表から70年後、グレン・ミラーがアレンジを加えて演奏し、広く定着した曲です。私が昔々、大学の音楽科指導法授業でピアノ練習した曲でもあります。冒頭は一学期にこの曲を通して、音の重なり・低音の効果を感じながら演奏することを学んだ5年生の低音に関する声です。

9月末の運動会で自信をつかんだ子どもたちは学習に専心しています。さらに、11月半ばの舞台発表会いちょうフェスティバルに向けた準備に、既に、取り組んでいます。年度初めにお伝えしているように、今回は全学年とも、音楽を軸とした発表を行います。各学年100人前後の子どもたちが力を合わせて演奏や表現に臨みます。前述した低音などを取り入れた多彩な楽曲に取り組みます。自分の担当部分の演奏を確実にするとともに、友だちや全体の演奏を聴きながら、調和していきます。一人一人の役割・責任を果たすことや多くの友だちとの協調を学びます。

「ダンスは家でノリノリで見せてくれたり、親に教えてくれたりして・・・」(1年)「じゃんけんリーダーになったと言って、自宅でも熱心に練習していて・・・」(2年)「家でも音楽をかけ、本人なりに一生懸命練習していました。」(3年)「華やかでした。家でも練習を見せられました・・・」(4年)「家で一人で練習しているときはおもしろい感じでしたが、全員で合わせるとすごい迫力パワーでした。」(5年)「家に帰るといろいろ話してくれて、練習をたくさんしたことがわかりました。」(6年)これらの運動会保護者アンケートから、当日までの家庭の見守り・励ましが、子どもを支えてきたことがわかります。舞台発表会も当日の出来映え以上に、練習過程が大切であると考えています。演奏技能や立ち居振る舞いなど困難なことを乗り越えていく経験が子どもたちを鍛えます。正比例のように伸びていくことは希(まれ)でしょう。上がったたり下がったりしながら、言うように、一步一步高まっていくことでしょう。これこそ、行事の価値の一つです。保護者のみなさまの支えは舞台発表会をつくるのです。

曲を支え、深みを与える低音、いわゆるベースはクラシックではコントラバスが、ジャズではウッドベースが担います。主旋律の躍動と低音の支えを子どもの育ちと家庭の見守りに例えては例えすぎでしょうか。安定した支えがあるからこそ、心温まる帰る場所があるからこそ、子どもたちは安心して学校生活を送れるのではないのでしょうか。一事が万事とは言いませんが、おうちで悲しいことがあると、心なしか子どもの顔色が暗くなるように思えます。細やかに、かつ泰然と構える保護者の姿勢に子どもは安心します。

子どもの声が続きます。

“一色だったものが色の種類が増え鮮やかになった”、“楽しい雰囲気が出る”、“リズム感が増す”、“低い音だけど暗い雰囲気にならず柔らかい感じになる”・・・

低音、恐るべしです。

## 11月の生活目標

### 《しっかり学習をしよう》

生活指導主任 久保 淳太郎

先月、恒例のハンカチ調べをしました。6年3組はこの期間、毎日一人も欠かさずハンカチをもってきて見事完全1位を獲得しました。実はクラスで普段からハンカチ調べをしているようです。毎日の小さな積み重ねが着実に一人一人の力になっています。学習では、前日に持ち物をそろえる、チャイム着席をする、姿勢を正す、相手の目を見て話を聞く、友達と協力するなど、真剣に学習に取り組もうと努力する子供たちの姿が見られます。勉強の秋、一人一人が日々当たり前のように取り組んでいることを認め、励まし、学習のよい習慣がさらについていよう指導していきます。

## 11月の行事予定

- 1日(水) 安全指導  
生活科見学(1・2年)
- 10月31日(火)～11月2日(木)  
ユニセフ募金  
8:00～8:15 校門にて
- 2日(木) 社会科見学(5年)
- 3日(金) 文化の日
- 6日(月) 全校朝会 クラブ  
クリーン運動(2・4・6年)
- 7日(火) 連合音楽会(5年)
- 8日(水) 児童集会  
避難訓練
- 10日(金) 食育クイズ  
もりもりウィーク終
- 11日(土) 土曜授業日 金曜時間割
- 13日(月) 全校朝会 クラブ
- 15日(水) たてわり班活動
- 16日(木) 代表委員会挨拶運動
- 17日(金) いちようフェスティバル1日目
- 18日(土) いちようフェスティバル2日目  
特別時程 午前授業 給食なし  
月曜日時間割
- 20日(月) 振替休業日
- 22日(水) 午前授業(4年研究授業のため)
- 23日(木) 勤労感謝の日
- 27日(月) 全校朝会 委員会  
クリーン運動(1・3・5年)
- 28日(火) 午前授業 個人面談1日目
- 29日(水) 教育会一斉研究日のため午前授業  
特別時程
- 30日(木) 午前授業 個人面談2日目  
たてわり班活動

## 「いちようフェスティバル」(11月17・18日)

音楽専科 本間 愛子

「音楽を切り口に、子どもたちの表現力を育てよう」というねらいのもと、いちようフェスティバルに向けて取り組んでいます。それぞれの学年が、合唱・合奏・歌・劇・ダンスなど、いろいろなパフォーマンスを組み合わせ一つの舞台を創り上げます。その中で自分一人の力だけでなく、友達と一つのものを創り上げていく過程で生まれる喜びや、新たな自分の可能性をたくさんみつけてほしいと願っています。

保護者の方は2日目の18日(土)が鑑賞日となっております。当日は入れ替え制ではなく他学年の演目も自由に鑑賞できますので、1年生から6年生までの発表を心ゆくまでご覧ください。

体育館が「劇場」となるその瞬間、本番に向けて毎日頑張ってきた子供たちのパワーが一つになり、会場に大きな感動を生み出すことでしょう！



## 1・2年生合同 生活科見学 (10月1日)

1年担任 熊田 慈子

校庭に植えられた樹木も色づき始め、季節の変化を感じます。

11月は子供たちが楽しみにしている生活科見学があります。1年生と2年生が一緒になって光が丘公園まで出かけます。1年生と2年生は、24に分かれたグループごとに自己紹介をしました。当日は、2年生のリーダーを中心に、1年生と2年生が協力してオリエンテーリングをする予定です。地域の「秋」を探しながら、異なる学年の班で活動することで、子供たちの交流を深めることはもちろん、集団の中で協力する心と自然に親しむ心を伸ばしていくことをねらいにしています。担任一同、安全に気をつけて楽しい思い出が作れるようにしていきます。

## 学校応援団まつり(10月15日)

副校長 後藤 京子

10月15日日曜日に学校応援団まつりがありました。あいにくの雨降りでしたが、9時からたくさんの子供たちが集まり、未就学児も含めて、325名の子供たちが参加しました。ひろば室のビーズづくり、校舎1階では、ぬりえやクイズに答えるスタンプラリー、家庭科室では、甘い香りが広がるミニどら焼きやえびせん、昇降口では、まとあてやキックターゲット、図書室ではハロウィンバックづくり、そして体育館では、ソフトバレー、フリスビー、ダーツと楽しい遊びがたくさんありました。たくさんの応援団のスタッフの皆さん、PTA役員の皆さんのご準備と運営あつてのことです。ありがとうございました。

(左「開会式」、右「ハロウィン・ハッピーバッグづくり」)

